

## 14 行基の掘った井戸の水ってどんな水なのだろう？

～羽鳥学区の地下水を調べよう～



### 1 研究の動機

建徳寺は、その昔、行基という僧が建立しました。建徳寺は、羽鳥地区の中心と言っていい位大きな寺だったようです。残念ながら火事で焼失してしまいお寺としては、今はありません。行基が建立した時、一緒に井戸も掘りました。その井戸も埋められてしまい、今では直接見ることはできません。僕達は、井戸水の話をもと町内会長さんから聞いた時、『井戸水は、どの川からきた水なのですか？』と質問してみました。おそらくは、大門川ではないのかという答えでした。しかし、大門川というのは、あまりきれいな川ではありません。建徳や羽鳥では、今でも井戸水が出ている家がありますが、行基の掘った井戸が大門川の水なら、その水を井戸水として使用しているのか疑問に思いました。そこで僕達は、行基の掘った水が、どんな水だったのか調べてみようと考えました。

### 2 研究の目的

- (1) 服織中学校周辺の井戸水や河川の水質調査を行う。
- (2) 建徳周辺の井戸水が、どの河川のものなのかを調査する。
- (3) 行基の井戸水が、どんな水だったのかを観察する。

### 3 研究の予想

静岡平野の場合、安倍川の地下水が、平野の下を流れていると先生から聞きました。安東中の辺りで湧水が見られるのは、その証拠だと教えてもらいました。僕達の学区には、藁科川が流れています。もしかすると行基の井戸の水は、藁科川の水なのかもしれません。また、周りに山があるので、雨水が地下に染みこんだ水という考えも出てきます。インターネットで検索すると、行基の井戸水伝説には、桶が多く出てきます。行基と桶も関係しているのではないかと予想しました。

### 4 方法と内容

- (1) 大門川、藁科川、安倍川の水質調査を行う。
  - ・大河内中学に専門的な水質調査ができる機械があるので、それを貸してもらおう。
  - (気温、水温、Ph、COND、TURB、Do 1、sa l td 等)
  - ・専門家に河川の水質調査をしてもらおう。
- (2) 静岡市内の寺を巡り、行基伝説を調べる。静岡市教育センターの村上さんから情報で行基伝説があると教えてもらったお寺に直接訪問して行基のことについて教えてもらう。
- (3) 羽鳥地区に井戸水が出るところがあるか調べる。
  - ・全校生徒にアンケート調査
- (4) 学区の古老に行基の井戸について教えてもらう。
  - ・元建徳町内会長の鈴木さんを訪ねてインタビューする。
- (5) 国土交通省、静岡市役所、静岡県水利用室等に問い合わせ、過去の藁科川の流れや大門川の流れについて教えてもらう。
- (6) 建徳を中心とした井戸水や河川の調査を行う。
- (7) 井戸水や地下水、伏流水に関する資料を集める。
  - ① 図書館(藁科図書館、中央図書館、県立図書館 等)
  - ② インターネットで藁科地区の井戸水について

て資料を集める。

- ③井戸水、地下水に関する文献を購入する。
  - ④羽鳥地区の地質についての資料を集める。
  - ⑤羽鳥地区の土地の歴史についての資料を集める。
- (8)行基伝説についての資料を集める。



## 5 研究のまとめ

行基の掘った井戸の水ってどんな水なのだろう  
このことを調べるために次の(1)~(3)までのこと  
について調べてきた。

- (1)服織地区の井戸水、河川の水質調査を行う。
- (2)建穂付近の井戸水が、どの河川の水質に近いのかを調べる。
- (3)行基の井戸水が、どんな水だったのか考察する。

行基の井戸は、道路の下にあるために、直接その水を採取することはできない。しかし、建穂寺や建穂神社の近くにある井戸水を調べることはできる。そこで、その水や周りの河川についてデータをとり調べてきた。

【今まで分かったこと】

- ◇建穂寺 → 行基が仏像を作る。井戸を掘る。
- ◇明治時代に建穂寺は、建穂神社に分けられる。建穂寺は、火事で燃えてしまう。
- ◇現在の建穂寺は、復元されたものと、焼けなかったものを建穂町内で管理している。
- ◇現在の建穂寺の近くには、大門川の起点となる湧き水が出ているところがある。
- ◇農業用の井戸もある。
- ◇建穂神社付近には、手押しポンプ井戸がある。
- ◇行基伝説には、楠が出てくるが、建穂神社にも大きい楠がある。
- ◇建穂神社近くの井戸水の水質は、建穂寺付近の水質と異なる。

◇行基の井戸の場所もはっきりわからない。おそらくは、道路の下にある。

行基の井戸の正確な場所が建穂神社付近か建穂寺付近かによって行基の井戸の水がどこからきたのが変わってくると考えられる。そこで僕達が今まで調べたり、実験したことから次のような仮の結論を出してみた。

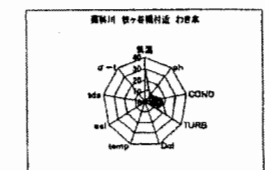
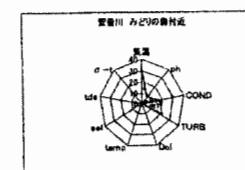
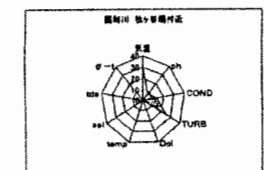
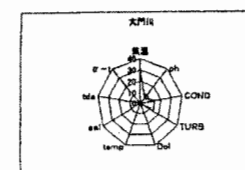
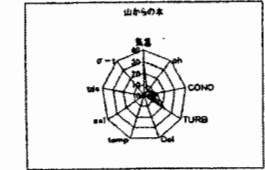
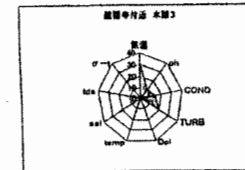
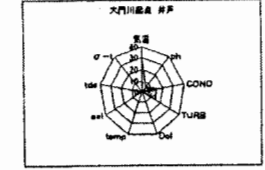
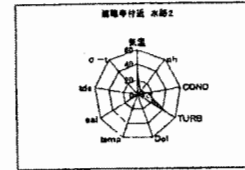
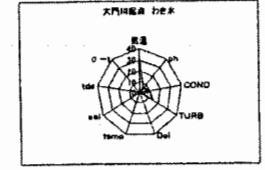
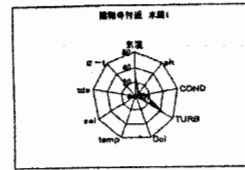
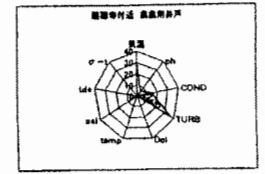
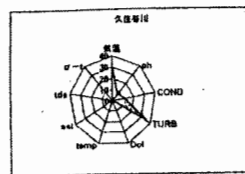
行基の掘った井戸の水は、どんな水なのだろう？

～行基の井戸が建穂神社付近だった場合～

行基の井戸は、大門川以外の河川である。

～行基の井戸が建穂寺付近だった場合～

行基の井戸は、大門川の水である。ただし、大門川起点付近の湧き水である。一部雨水が混ざっている可能性もある。(もしかすると久慈川の水も少し含まれているかもしれない。)



静岡市東区明庵7-4-0 明庵の4  
静岡市立明庵中学校 静岡市立明庵中学校 静岡市立明庵中学校  
静岡市立明庵中学校 静岡市立明庵中学校 静岡市立明庵中学校  
静岡市立明庵中学校 静岡市立明庵中学校 静岡市立明庵中学校

依頼者	静岡市立明庵中学校 静岡市立明庵中学校
依頼年月日	平成17年08月07日
11日検査項目	pH 総硬度 総硬度(カルシウム) 総硬度(マグネシウム) 硝酸イオン 亜硝酸イオン 塩素イオン 溶解性亜鉛
採取場所	建穂神社付近井戸

計測の経緯	計測の結果	計測の方法
硝酸イオン	2.2 mg/L	JS K O101 27.2
亜硝酸イオン	0.1 mg/L	JS K O101 48.2
塩素イオン	11 mg/L	JS K O101 46.3
溶解性亜鉛	2.1 mg/L	JS K O101 50.3
硝酸イオン	10 mg/L	JS K O101 42.2
亜硝酸イオン	0.1 mg/L	JS K O101 37.2
塩素イオン	18 mg/L	JS K O101 37.2
溶解性亜鉛	7.4 mg/L	JS K O101 32.5
硝酸イオン	21.5 mg/L	JS K O101 12
pH	7.1 (25℃)	JS K O101 1.1 カラス電極法
溶解性亜鉛	130 mg/L	JS K O101 29.1
	以下省略	



僕達は、地面の下にある行基の井戸がどちら側に近いのかさらに考察してみた。

建穂寺の歴史によると、過去の建穂寺が燃えてしまうまでは、建穂神社付近の場所にあったこと。また、建穂神社前の道が藁科街道につながる大きな道であったこと。建穂神社には、大きな楠があること。(行基伝説では楠や大木が多い。)鈴木さんに再度聞いてみた話では、建穂神社付近の方が怪しいこと。などから結論を出してみた。

結論 → 行基の井戸水が現在の建穂神社付近の水に近い水であった。

大門川の水質とは異なるので、どの河川なのかは、さらに追求していく必要がある。行基伝説の中には、大木を倒したあとに井戸が出たというものもある。行基は、木のもっている保水力についての知識があったのかもしれない。そうでなければ、各地で同じようなことができなかつたと考えられる。科学的な考えができるお坊さんだっただけに違いない。

## 6 今後の課題

(1) 楠の保水力と井戸の関係について実験を通して調べてみたい。

調査していく中で楠が行基の井戸水伝説によく出てくるのがわかった。足久保の法明寺で教えてもらったことの中に大きい楠の伝説があり、楠が倒れた後に井戸水が湧いたという話がある。(硯水泉の社長さんも言っていた。)広葉樹は、保水力が高いが、楠の保水力がかなり高いのかもしれない。苗などを使い確かめてみたい。楠と行基についてもさらに資料を集めていきたい。

(2) 行基伝説について静岡市内の神社や寺にアンケート調査をしてみた。

行基伝説を調べると弘法大師伝説で同じようなものが見つかった。静岡市内で行基伝説があるお寺で行っていないところには行き、インタビューしていきたい。また、市内全部の神社や寺には、楠が生えていると思う。もしかすると今回、名前が出てこなかった神社や寺にも行基伝説、または弘法大師伝説があるかもしれない。詳しく調査していきたい。

(3) 調査したことを学校や町内の人に伝えていきたい。

建穂寺は、江戸時代までは、かなり大きな寺だったことに驚かされた。そんな素晴らしい寺が地域にあることは知っていても行基の井戸については、知らない生徒が多かったので僕達が調べたことを全校生徒に伝えられたら良いと考える。また、地域の中には、建穂寺を一生懸命に守り、管理してくれている人もいる。その人達に対しても僕達が調べたことを伝えられたら良いと思う。

(4) 水の分析を再度見直してみたい。

自分達で調べたデータや採集した水を専門機関に調べてもらったもの等、それぞれをおいしい水のダイヤグラムと比較したりグラフの形を変えてみたりしながら再度分析し直してみたい。

## 7 反省、感想

僕達が最初に考えたのは、学区にある井戸を見つけることでした。校内でアンケート調査したり実際に見に行ったりしたことで建徳周辺には、思っていた以上に井戸があることがわかりました。夏は、部活で忙しくて全員がそろえることはなかなかできなかったのですが、数人で都合をつけて、水質調査や寺に行行って行基について教えてもらったりしました。行基伝説の中で興味があったのは法明寺の伝説です。病気になった聖武天皇のために7本の大きな杉の木を行基が植えたという話です。行基と聖武天皇の関係が深かったと思っていなかったのが驚きました。また、大河内中で借りた機械を使った水質調査だけで満足できずに、県生活科学センターに検査してもらった結果を見て、建徳神社付近の水が他の地点と異なる結果がおもしろく、もっと調べてみたい気持ちになりました。この研究でいろいろな人と出会い、お世話になったこともありがたいことだと思いい感謝しています。研究していて、まだ、わからないことが多いのでさらに研究を続けていきたいです。

